

# 深浦町保健事業実施計画

(第2期データヘルス計画)

中間評価

令和3年3月

深 浦 町



## 目 次

第1章	保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項	1
1	背景	1
2	計画期間	1
3	実施体制	2
4	中間評価の趣旨	2
第2章	第2期データヘルス計画の中間評価	3
1	健康寿命の延長	3
2	医療費の適正化	3
第3章	第2期データヘルス計画の健康課題解決のための取組・中間評価・見直し	4
1	循環器系疾患・高血圧予防対策	4
	（1）これまでの取組と実績	4
	（2）目標実現に向けた取組・改善	6
2	糖尿病重症化予防対策	6
	（1）これまでの取組と実績	6
	（2）目標実現に向けた取組・改善	7
3	若年層の健診受診率アップ	7
	（1）これまでの取組と実績	7
	（2）目標実現に向けた取組・改善	8
4	肥満対策	9
	（1）これまでの取組と実績	9
	（2）目標実現に向けた取組・改善	10
5	がん対策	10
	（1）これまでの取組と実績	10
	（2）目標実現に向けた取組・改善	11
6	その他の保健事業	11
	（1）禁煙対策及び COPD（慢性閉塞性肺疾患）対策	11
	（2）子どもの生活習慣病	12
	（3）重複受診者への適切な受診指導	12
	（4）地域包括ケアの取組	12
	（5）ジェネリック医薬品の普及啓発	12
参考資料	深浦町保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）の評価・見直し整理表	



## 第1章 保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

### 1 背景

わが国の急速な高齢化に伴い、高齢者に対する社会保障、中でも医療保障の在り方は、極めて大きな問題となっており、医療保険、介護保険の給付費用は、2025年には社会保障費の50%を超え、年金給付額を上回るといわれています。このような未来予測を少しでも回避する為には、国民の意識を変え、生活習慣病を予防することにより医療費の抑制を図る必要があります。

さて、近年、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という。）の電子化の進展、国保データベース(KDB)システム<sup>※1</sup>（以下「KDB」という。）等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいます。

こうした中、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画としてデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取り組みを行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進するものです。

当町においては、これまでもレセプト等や統計資料等を活用することにより、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきたところですが、今後は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、ポピュレーションアプローチ<sup>※2</sup>から重症化予防までをPDCAサイクル<sup>※3</sup>に沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施し、疾病の早期発見、早期治療に向けた生活習慣病の予防に努めることにより、将来的には医療費を削減し、国保の適正化を目指します。

※1 国保連合会が保険者の委託を受けて行う業務を通じて管理する「医療」、「介護」、「健診」の情報等を活用し、統計情報等を保険者へ提供することで、保険者の効率的かつ効果的な保健事業の実施をサポートするために構築されたシステム。

※2 対象を一部に限定しないで、集団全体へアプローチをし、リスクを下げていく考え方。

※3 Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善していく手法。

### 2 計画期間

計画期間については、関係する計画との整合性を図るため、保健事業実施指針第4の5において、特定健康診査等実施計画及び健康ふかうら21との整合性を踏まえ、複数年とすることとしています。具体的には、平成29年度中に保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定し、計画期間は、平成30年度から令和5年度までの6年間としています。

### 3 実施体制

深浦町においては、国民健康保険係と健康増進係が連携し、本計画に沿った事業を展開することとしています。

### 4 中間評価の趣旨

本計画では、優先的に解決すべき健康課題を把握し、被保険者の健康保持増進に向けて課題解決に必要な保健事業に取り組んできました。計画の中間年度となる令和2年度において、平成30年度から令和元年度に実施した事業の評価と計画の目的・目標の達成状況の評価を行います。

## 第2章 第2期データヘルス計画の中間評価

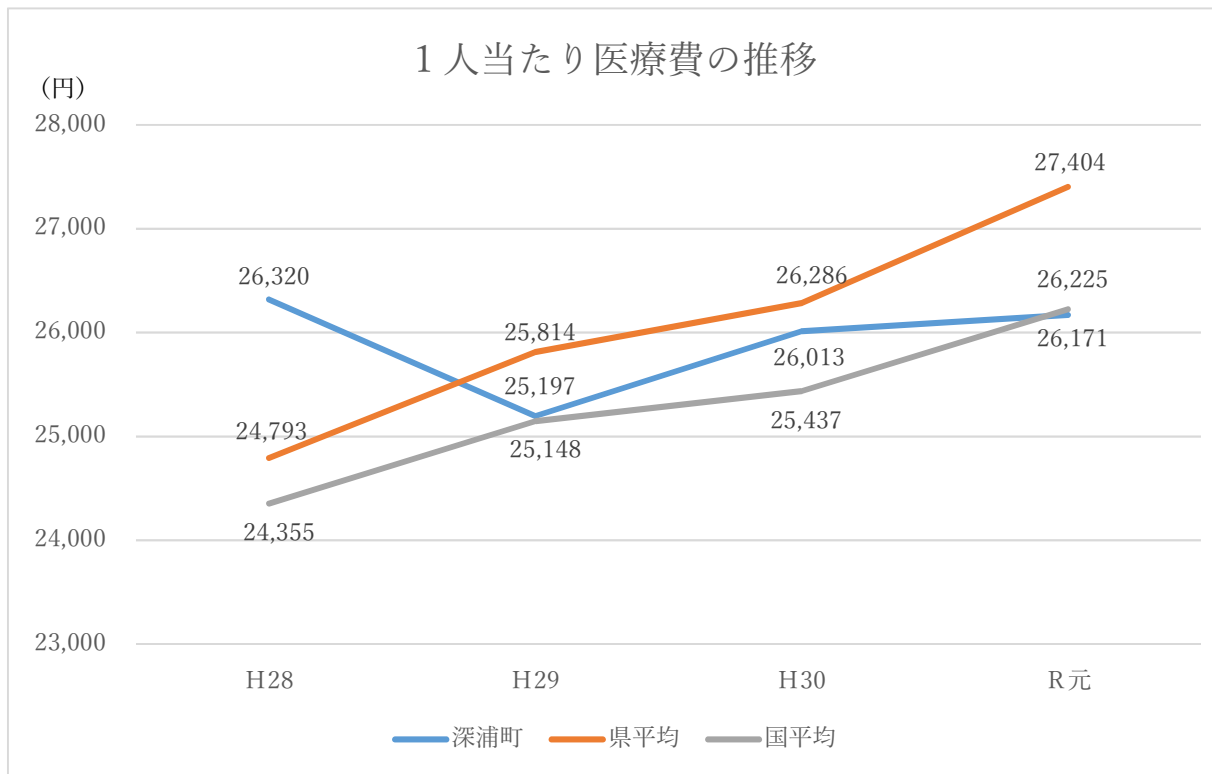
### 1 健康寿命の延長

現在公表されている平成27年市区町村別生命表（厚生労働省公表）の当町の平均寿命は、男性78.1歳、女性85.8歳で、県平均（男性78.7歳、女性86.0歳）よりも若干短くなっています。

市区町村別生命表の公表年が5年に1度で、本計画策定以降公表されていないため、中間評価の時点では比較対象がなく、評価することができません。

### 2 医療費の適正化

深浦町国民健康保険の月間の1人当たりの医療費は横ばい傾向にあります。平成28年度は県内40市町村中多い順から9位で、県平均を上回っていましたが、令和元年度は31位で、県平均を下回っています。



資料：KDB 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

### 第3章 第2期データヘルス計画の健康課題解決のための取組・中間評価・見直し

#### 1 循環器系疾患・高血圧予防対策

##### (1) これまでの取組と実績

###### ア 取組計画・実施内容

取組計画	実施内容
①減塩等の食事指導（個別・集団）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区栄養教室（減塩や良い食習慣の普及啓発） <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士、食生活改善推進員による調理実習</li> <li>・H30 14 地区で実施（参加者 175 人）</li> <li>・R 元 13 地区で実施（参加者 157 人）</li> </ul> </li> <li>○特定健診・がん検診会場での減塩活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員による「減塩豚汁」の試食</li> <li>・H30 4 回実施（試食者 276 人）</li> <li>・R 元 4 回実施（試食者 325 人）</li> </ul> </li> <li>○家庭訪問みそ汁塩分測定調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員によるみそ汁の塩分測定</li> <li>・H30 19 地区で実施（137 軒）</li> <li>・R 元 18 地区で実施（154 軒）</li> </ul> </li> </ul>
②高血圧予防知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診結果説明会（特定健診継続受診対策） <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 管理栄養士による個別保健指導</li> <li>・R 元 医学博士による集団保健指導</li> </ul> </li> </ul>
③高血圧予防のための運動教室 （壮年期対象）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動不足解消プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 4（1）ア①のとおり</li> <li>・R 元 4（1）ア①のとおり</li> </ul> </li> <li>○その他運動事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「腰痛カイゼン教室」（運動指導）、「サーキットトレーニング」、「しらかみヘルスアップセミナー」（特定保健指導対象者に対する体操指導・健康教育）</li> <li>・H30 4（1）ア①のとおり</li> <li>・R 元 4（1）ア①のとおり</li> </ul> </li> </ul>
④情報提供（リーフレット送付）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報提供ハガキの送付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診未受診者対策で送付した特定健診受診勧奨ハガキに生活習慣病（高血圧）に関する記事を掲載</li> <li>・H30 送付数 1,701</li> <li>・R 元 送付数 1,709</li> </ul> </li> </ul>
⑤健診受診者のフォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「動機づけ支援」判定者に対する結果説明会</li> </ul>



(健診結果説明会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保健師による特定保健指導初回面接</li> <li>• H30 9回実施(参加者48人)</li> <li>• R元 8回実施(参加者38人)</li> </ul> ○健診結果説明会(特定健診継続受診対策) <ul style="list-style-type: none"> <li>• H30 管理栄養士による個別保健指導(健診数値の見方)、運動指導士等による個別運動指導等 参加者20人</li> <li>• R元 医学博士による集団保健指導(健診数値の見方)、足裏バランス測定、個別運動指導等 参加者37人</li> </ul>
⑥要医療者の早期受診勧奨	○特定健診の要精検者に対する受診勧奨 <ul style="list-style-type: none"> <li>• H30 郵送による複数回の受診勧奨</li> <li>• R元 郵送による複数回の受診勧奨</li> </ul>

イ 短期的な目標・実績

・アウトプット

目標	実績	
	H30	R元
1. 健診結果説明会への参加者数 150人	68人	75人
2. 減塩等栄養講座の参加者数 50人	175人	157人
3. 高血圧予防改善啓発リーフの配布数 1,000人	1,701人	1,709人
4. ジェネリック医薬品啓発 全国保被保険者	全国保被保険者	全国保被保険者

・アウトカム

目標	実績	
	H30	R元
1. 男性の高血圧有所見者(収縮期血圧130以上)を40%以内とする	43.7%	43.3%
2. 女性の高血圧有所見者(収縮期血圧130以上)を38%以内とする	38.0%	36.9%

資料：KDB 厚生労働省様式(様式5-2) 健診有所見者状況

ウ 課題等

男性の高血圧有所見者(収縮期血圧130以上)が目標値40%に達していません。平成28年度実績(41.5%)からも増加しており、男性の高血圧予防対策が今後も課題となっています。

## (2) 目標実現に向けた取組・改善

循環器系疾患の医療費や高血圧症患者数の伸び等を抑えるため、引き続き、地区栄養教室や健診会場等での食事指導を通して、各家庭に減塩や良い食習慣を普及啓発し、健診結果説明会等での高血圧予防知識の普及啓発や保健指導に取り組みます。また、特定健診を受診することが被保険者本人の健康管理意識の向上につながるため、特定健診未受診者対策等において、受診率の低い男性に受診を促す勧奨を行っていきます。

## 2 糖尿病重症化予防対策

### (1) これまでの取組と実績

#### ア 取組計画・実施内容

取組計画	実施内容
①糖尿病予備群を対象とした介入プログラム導入、専門家による講義・運動教室・栄養講座等	○予備群対象を対象とした糖尿病予防・改善教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 医学博士、健康運動指導士、管理栄養士による集団指導 5回実施（参加者25人）</li> <li>・R元 健康運動指導士、管理栄養士による集団指導 3回実施（参加者16人）</li> </ul>
②情報提供（リーフレット送付）	○情報提供パンフレットの配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・予備群対象を対象とした糖尿病予防・改善教室参加者に配布</li> <li>・H30 配布数25</li> <li>・R元 配布数16</li> </ul> ○情報提供ハガキの送付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診未受診者対策で送付した特定健診受診勧奨ハガキに生活習慣病（糖尿病）に関する記事を掲載</li> <li>・H30 送付数1,701</li> <li>・R元 送付数1,709</li> </ul>
③健診受診者のフォローアップ（健診結果説明会）	○「動機づけ支援」判定者に対する結果説明会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 1（1）ア⑤のとおり</li> <li>・R元 1（1）ア⑤のとおり</li> </ul>
④糖尿病ハイリスク者(HbA1c6.5以上)を対象とした訪問による保健指導（町保健師）	○糖尿病性腎症が懸念される者への個別保健指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病重症化予防事業（委託）で実施</li> <li>・H30 参加者5人</li> <li>・R元 参加者4人</li> </ul>
⑤糖尿病治療者及び治療中断者に対する治療継続を促す指導	○医療機関からの情報提供による訪問指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 0人</li> <li>・R元 2人</li> </ul>

イ 短期的な目標・実績

・アウトプット

目標	実績	
	H30	R元
1. 糖尿病早期患者・予備群対象プログラム参加者 30人	25人	16人
2. 糖尿病性腎症予防対象者への訪問数 20人	0人	0人
3. 糖尿病予防改善啓発リーフの配布数 700人	1,726人	1,725人

・アウトカム

目標	実績	
	H30	R元
1. 男性の糖尿病有所見者（HbA1c5.6以上）を45%以内とする	58.0%	34.0%
2. 女性の糖尿病有所見者（HbA1c5.6以上）を43%以内とする	62.0%	28.5%

資料：KDB 厚生労働省様式（様式 5-2）健診有所見者状況

ウ 課題等

糖尿病有所見者（HbA1c5.6以上）は、平成30年度は男女とも目標値を超えていますが、令和元年度は目標値を達成しています。

(2) 目標実現に向けた取組・改善

糖尿病有所見者（HbA1c5.6以上）の割合を下げるのが、糖尿病の重症化予防と医療費の抑制につながります。

引き続き、糖尿病予備群対象プログラムや健診受診者のフォローアップ（健診結果説明会）を実施しますが、参加者を増やす工夫が必要です。併せて、糖尿病ハイリスク者（HbA1c6.5以上）を対象とした保健指導等の取組も実施していきます。

3 若年層の健診受診率アップ

(1) これまでの取組と実績

ア 取組計画・実施内容

取組計画	実施内容
①通知による個別勧奨～対象者の状況に合わせ、文面を変えたハガキ・手紙による勧奨	○特定健診未受診者対策 ・対象者の特性（性別・年代別）に合わせ、文面を変えたハガキによる個別勧奨 ・H30 対象者 1,701人 ・R元 対象者 1,709人
②農協・漁協等組織との連携を強化	○漁協との連携による受診勧奨

し受診勧奨を図る 重点対象： 40 歳～59 歳の男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 新深浦町漁協の事務所、荷捌所に健診ポスターを掲示</li> <li>・R 元 新深浦町漁協の事務所、荷捌所に健診ポスターを掲示</li> </ul>
③健康イベント等での受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診結果説明会（特定健診継続受診対策）</li> <li>・参加者への継続受診勧奨</li> <li>・H30 参加者 20 人</li> <li>・R 元 参加者 37 人</li> </ul>

#### イ 短期的な目標・実績

##### ・アウトプット

目標	実績	
	H30	R 元
1. 未受診者全員に対し通知勧奨を行う 年 1 回以上	1 回	1 回
2. 若年層をターゲットにした電話勧奨 100 人	0 人	0 人
3. 受診勧奨を目的とした健康集会の開催 120 人参加	20 人	37 人
4. 特に受診が必要な対象者への訪問勧奨 30 人	0 人	0 人

##### ・アウトカム

目標	実績	
	H30	R 元
1. 男性 40～59 歳代の健診受診率を 30%以上とする	22.5%	23.6%
2. 女性 40～59 歳代の健診受診率を 40%以上とする	36.3%	36.2%

資料：法定報告値

#### ウ 課題等

40～59 歳代の健診受診率が男女とも目標値を下回っています。

令和元年度の健診受診率は 39.3%で県平均を上回っていますが、男性は 33.8%で県平均を下回っています。特に、男性 40～59 歳の受診率が低くなっています。

#### (2) 目標実現に向けた取組・改善

健診受診率の向上は、被保険者個人の健康管理を促し、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療につながり、医療費の抑制にもつながります。

健診受診率は、平成 28 年度以降 38.0%～40.5%で推移しています。

特定健診未受診者対策として、引き続き 40 歳～59 歳の男性を含めた未受診者の特性に応じた受診勧奨を行います。令和 5 年度の受診率目標値 60%に向けて、より効果的な勧奨方法を取り入れ、受診率の向上を図ります。

#### 4 肥満対策

##### (1) これまでの取組と実績

###### ア 取組計画・実施内容

取組計画	実施内容
①運動の普及啓発（ウォーキング等）実施、講演会やウォーキングイベントの実施	○健康づくり歩け歩け大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進と運動の習慣化を目的としたウォーキングイベント（平成 30 年度をもって休止）</li> <li>H30 参加者 61 人</li> </ul> ○運動不足解消プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>専門講師によるエアロビクス、軽運動、ヨガ</li> <li>H30 12 回実施（延べ参加者 190 人）</li> <li>R 元 12 回実施（延べ参加者 133 人）</li> </ul> ○その他運動事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>専門講師等による「腰痛カイゼン教室」（運動指導）、「サーキットトレーニング」、「しらかみヘルスアップセミナー」（特定保健指導対象者に対する体操指導・健康教育）</li> <li>H30 15 回実施（延べ参加者 64 人）</li> <li>R 元 15 回実施（延べ参加者 71 人）</li> </ul>
②過食や間食、早食いなどの食生活改善のための講座	○地区栄養教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>H30 1（1）ア①のとおり</li> <li>R 元 1（1）ア①のとおり</li> </ul>
③情報提供（リーフレット送付）	○情報提供ハガキの送付 <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診未受診者対策で送付した特定健診受診勧奨ハガキに生活習慣病（肥満）に関する記事を掲載</li> <li>H30 送付数 1,701</li> <li>R 元 送付数 1,709</li> </ul>

###### イ 短期的な目標・実績

###### ・アウトプット

目標	実績	
	H30	R 元
1. ウォーキングイベント参加者数 50 人以上	61 人	—
2. 肥満解消を目的とした食生活改善講座への参加 50 人	175 人	157 人
3. メタボ改善啓発リーフの配布 1,000 人	1,701 人	1,709 人

・アウトカム

目標	実績	
	H30	R元
1. 男性BMI 有所見者を 33%以内とする	39.1%	38.1%
2. 女性BMI 有所見者を 27%以内とする	26.7%	26.3%

資料：KDB 厚生労働省様式（様式 5-2）健診有所見者状況

ウ 課題等

男性のBMI 有所見者が目標値 33%を超えています。

(2) 目標実現に向けた取組・改善

平成28年度の肥満（BMI）の有所見者割合は、男性 35.1%、女性 29.0%でした。女性は減少していますが、男性は増加しています。

引き続き、運動不足解消プログラムや広報等による運動の普及啓発、地区栄養教室等による食生活改善に取り組みます。特に、有所見者割合の高い男性に向けては、まずは特定健診の受診勧奨を通して健康管理の啓発に取り組みます。

5 がん対策

(1) これまでの取組と実績

ア 取組計画・実施内容

取組計画	実施内容
①がん検診に対する正しい知識の普及	○がん検診受診対象者への案内 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 受診票に同封する集団検診の案内にチェックリストに対応した説明を掲載</li> <li>・R元 受診票に同封する集団検診の案内にチェックリストに対応した説明を掲載</li> </ul>
②各組織（職域・保健協力員）と連携したがん検診受診率の向上	○保健協力員による受診勧奨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 受診対象者がいる世帯への訪問</li> <li>・R元 受診対象者がいる世帯への訪問</li> </ul>
③要精検検査受診率の向上を図る	○要精検者に対する受診勧奨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 郵送による複数回の受診勧奨</li> <li>・R元 郵送による複数回の受診勧奨</li> </ul>

イ 短期的な目標・実績

・アウトプット

目標		実績			
		H30		R元	
1. 各検診受診率を 40代 40%、50代 50%とする	検診種別	40代	50代	40代	50代
	胃がん	14.2%	19.2%	11.8%	15.6%

※国保被保険者以外も含む	大腸がん	16.7%	24.6%	15.0%	21.3%
	肺がん	15.0%	21.7%	12.9%	18.1%
	乳がん	30.2%	36.0%	27.6%	35.2%
	子宮がん	37.0%	32.3%	35.0%	32.3%
2. 精密検査受診率を 100%とする ※国保被保険者以外も含む		94.9%		96.7%	

資料：地域保健・健康増進事業報告（各検診受診率）  
深浦町保健活動のまとめ（精密検査受診率）

※各検診受診率、精密検査受診率の実績には、職場や人間ドック等でがん検診を受診している者は含まれていません。

・アウトカム

目標（最終年度令和5年度）	実績	
	H30	R元
1. 50代、60代のがん死亡数の全死亡数に占める割合を2%以下とする ※50～69歳のがん死亡者数÷町死亡総数（国保被保険者以外も含む）	3.0%	11.4%

資料：深浦町保健活動のまとめ【別冊】

ウ 課題等

50代、60代のがん死亡数の全死亡数に占める割合が目標値を上回っています。

(2) 目標実現に向けた取組・改善

死因の1位は当町においても「がん」であり、令和元年度の医療費においても当町国保全体の31.2%を占めています。

検診による早期発見・早期治療が、死亡率の低下や医療費の抑制につながります。

引き続き、受診対象者に送付する検診の案内でがん検診に対する正しい知識を普及し、保健協力員と連携した受診勧奨を行い、検診受診率の向上と要精検検査受診率の向上に取り組みます。また、広報等によるがん検診に対する正しい知識の普及も行います。

6 その他の保健事業

(1) 禁煙対策及びCOPD（慢性閉塞性肺疾患）対策

禁煙外来治療費助成事業を実施し、平成30年度から令和元年度まで7人の申請があり、うち治療を完了した者は2人でした。

当町の喫煙率は、平成28年度16.0%から令和元年度14.1%と減少しています（R元年度：県平均14.5%、国平均14.0% KDB地域の全体像の把握より）。

引き続き、禁煙外来治療費助成事業を実施するとともに、広報や検診等の機会を通して

禁煙の啓発に取り組みます

## (2) 子どもの生活習慣病

平成 30 年度及び令和元年度は、小学生生活習慣病予防健診（全小学校の 5 年生対象）、幼児期からの正しい食生活を普及するための幼児栄養教室（子育て支援センター「ほほえみ」利用者）を実施しました。

子どもの頃からの好ましい生活習慣の形成が、将来の生活習慣病予防につながり、家庭内や地域の生活習慣病予防にもつながるため、引き続き、児童生徒を対象とした生活習慣病予防健診や幼児栄養教室を実施していきます。

## (3) 重複受診者への適切な受診指導

同一疾患で複数の医療機関を重複して受診している被保険者に対し、保健師による受診指導を行いました（H30：対象者なし R元：1 人→指導後改善）。

引き続き、診療明細書情報等を活用して対象者を抽出し、適切な受診の指導を行います。

## (4) 地域包括ケアの取組

当町国保の前期高齢者の割合は、平成 28 年度 41.3%から令和元年度 46.9%と上昇しています（KDB 地域の全体像の把握より）。

市町村国保の立場からも地域包括ケアを進めるため、課題を抱える被保険者の把握と働きかけなどに取り組んでいきます。

## (5) ジェネリック医薬品の普及促進

国保の全ての被保険者に対しては、被保険者証一斉更新の際にジェネリック医薬品啓発について記載されたパンフレットを同封しました。さらに先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担が一定額以上軽減されると見込まれる被保険者に対して、ジェネリック医薬品差額通知とジェネリック医薬品希望カードを送付しました。

ジェネリック医薬品の普及率は、平成 30 年度 71.9%、令和元年度 76.8%でした。厚生労働省では、令和 2 年度末までに 80%以上を目標としており、当町においても同じ目標で取り組んでいます。

今後は、70 歳到達の被保険者に対して国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証を送付する際にジェネリック医薬品希望カードを同封し、新規国保加入者に対してジェネリック医薬品希望カードを配布するなどして普及の促進を図ります。